



## 日本 会計年度 インベストメント・バンキング・レビュー

2017年度上半期



THOMSON REUTERS



# 日本 M&A

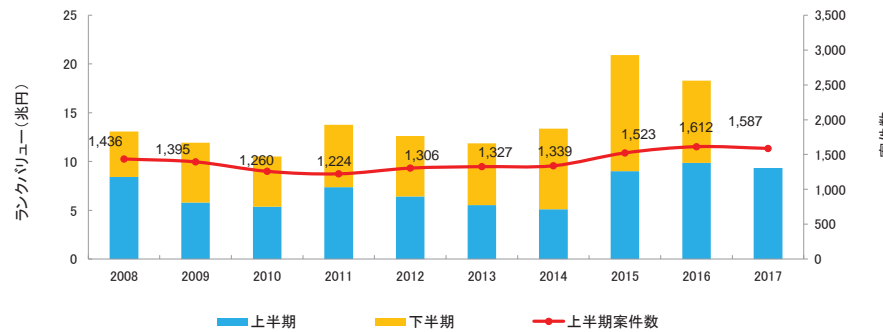
## 日本M&A 5%減少 | ハイテクノロジーが首位 | 金融とヘルスケアが活発

### 日本案件情報

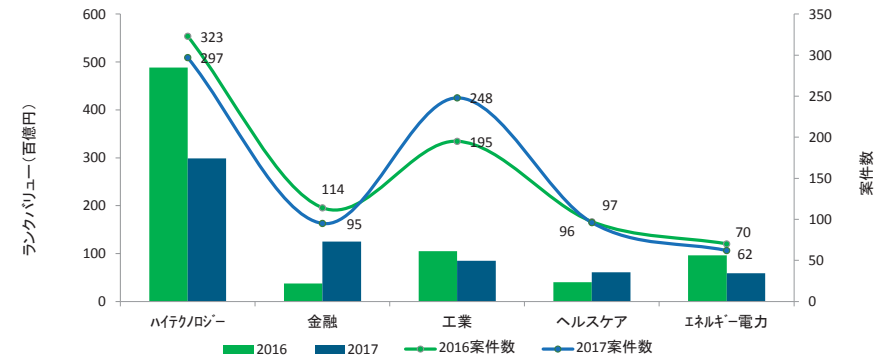
2017年度上半期の日本関連M&A案件は9.4兆円と、前年同期比5.3%の減少となったが、過去10年でみると前年に次ぎ高水準であった。1,000億円超の案件は18件、総額5.5兆円となり前年同期から21.6%低下した。一方で、全体の案件数は1,587件に達し歴代2位の規模となった。被買収側の上位5業種でみると、ハイテクノロジーが3兆円で首位となり、上半期の上位2案件を占有した。前年同期から増加したのは金融及びヘルスケアで、金融は前年同期比234%増となる1.2兆円、全体の14.2%を占めて2位につけた。

これには日米韓連合によるバンゲア出資案件、並びに三井住友海上火災保険によるファースト・キャピタル・インシュアランス買収案件が寄与した。4位のヘルスケアは前年同期比51.5%増となる6,075億円、ソフトバンクによるロイヴァント・サイエンシズ出資案件、並びに沢井製薬によるアップシャー・スミス・ラボラトリーズ買収案件が寄与し、市場全体の6.9%を占めた。マーケット別では、IN-OUT案件が前年同期比22.6%減となる4.2兆円と低調ではあったが、上位10位案件中6案件を占めて日本市場を牽引した。

### 日本企業が関連するM&A - 公表案件ベース



### 被買収側上位5業種 (4-9月期)



### 日本企業関連 公表案件 上位10位

不動産案件を除く

順位	ランク日	被買収側	被買収側 国籍	買収側	買収側 国籍	買収側最終親 会社国籍	ランクバリュー (億円)	被買収側 マクロ業種	被買収側アドバイザー	買収側アドバイザー
1	2017年9月20日	東芝メモリ	日本	バンゲア	日本	米国	20,000	ハイテクノロジー	野村證券/ゴールドマン・サックス	三菱UFJモルガン・スタンレー/センタービューパートナーズ
2	2017年4月28日	滴滴出行	中国	投資家グループ	日本	日本	6,119	ハイテクノロジー	-	-
3	2017年9月20日	バンゲア	日本	投資家グループ	米国	米国	4,795	金融	三菱UFJモルガン・スタンレー	野村證券/ゴールドマン・サックス
4	2017年4月6日	スノコLP - コンビニエンスストア	米国	セブン-イレブン インク	米国	日本	3,663	エネルギー・電力	JPモルガン	野村證券/バンクオブアメリカ・メリルリチ
5	2017年8月24日	ウィワーク	米国	ソフトバンクグループ	日本	日本	3,286	不動産	-	-
6	2017年8月23日	ファースト・キャピタル・インシュアランス	シンガポール	三井住友海上火災保険	日本	日本	1,753	金融	バンクオブアメリカ・メリルリチ	シティ
7	2017年6月26日	タカタ - ビジネス	日本	キー・セーフティ・システムズ	米国	中国	1,750	工業	PwC/ラザード・モーリス	UBS/KPMG/ジェフリーズ/中国工商银行
8	2017年5月18日	ワン97コミュニケーションズ	インド	ソフトバンク	英国	日本	1,548	通信	-	-
9	2017年6月9日	ハンター・バレー・オペレーションズ	オーストラリア	グレンコア	スイス	スイス	1,532	原料、材料	三菱UFJモルガン・スタンレー/ロスカイールド/BMOキャピタルパートナーズ	バンクオブアメリカ・メリルリチ
10	2017年9月21日	カルゴン・カーボン	米国	クラレ	日本	日本	1,501	原料、材料	三菱UFJモルガン・スタンレー	ゴールドマン・サックス



被買収側上位4業種別ファイナンシャル・アドバイザー上位3位 (AD19a)

	ランクバリュー(億円)	順位	市場占有率	案件数
ハイテクノロジー	29,860.6		33.9	297
野村証券	20,840.7	1	69.8	10
三菱UFJモルガン・スタンレー	20,000.0	2*	67.0	1
ゴールドマン・サックス	20,000.0	2*	67.0	1
金融	12,485.8		14.2	95
野村証券	5,375.3	1	43.1	12
三菱UFJモルガン・スタンレー	4,005.0	2	32.1	12
ゴールドマン・サックス	3,505.0	3	28.1	12
工業	8,474.7		9.6	248
野村証券	1,941.7	1	22.9	6
ラザード	1,777.0	2	22.2	2
中国工商银行	1,750.0	3*	20.7	1
KPMG	1,750.0	3*	20.7	2
プライスコアターハブスカーパス	1,750.0	3*	20.7	2
モリス	1,750.0	3*	20.7	1
UBS	1,750.0	3*	20.7	1
ジェフリーズ	1,750.0	3*	20.7	1
ヘルスケア	6,075.0		6.9	96
ゴールドマン・サックス	1,424.9	1	23.5	3
三井住友フィナンシャルグループ	6,075.0	2	6.9	96
BMOキャピタルマーケット	1,424.9	3*	23.5	3
Torreyパートナーズ	1,157.8	3*	19.1	3

(注) 表中の\*は同順位を表す

日本企業関連 公表案件 中規模市場 (MM15b1)

不動産案件除外  
金額非開示およびランクバリュー100百万米ドル以下(ランクバリューベース)

アドバイザー	2017年4月1日 - 2017年9月30日				2016年4月1日 - 2016年9月30日				前年同期比 (%)
	ランクバリュー (億円)	順位	市場占有率	案件数	ランクバリュー (億円)	順位	市場占有率	案件数	
野村証券	704.0	1	10.0	21	117,126.6	1	16.2	39	-39.9
三井住友フィナンシャルグループ	596.5	2	8.5	78	89,694.1	2	12.4	49	-33.5
みずほフィナンシャルグループ	369.8	3	5.3	70	67,376.5	3	9.3	98	-45.1
デロイト	301.4	4	4.3	22	19,773.7	11	2.7	20	52.4
三菱UFJモルガン・スタンレー	216.1	5	3.1	11	18,652.6	12	2.6	6	15.8
三菱UFJフィナンシャル・グループ	169.3	6	2.4	17	22,199.9	8	3.1	26	-23.7
KPMG	128.0	7	1.8	9	52,355.0	5	7.3	24	-75.5
三井住友トラストホールディングス	111.0	8	1.6	1	1,532.6	43	0.2	5	624.3
Stand By C	84.4	9	1.2	1	-	-	-	-	-
ブルータス・コンサルティング	80.9	10	1.2	18	21,395.6	9	3.0	24	-62.2
アドバイザー分計	2,964.0		42.1	392	423,580.8		58.6	477	-30.0
その他	4,081.2		57.9	1,081	298,879.4		41.4	1,056	36.5
市場合計	7,045.2		100.0	1,473	722,460.2		100.0	100	-2.5

(注) 表中の\*は同順位を表す

日本企業関連 公表案件 (AD19a)

不動産案件除外  
ランクバリューベース

アドバイザー	2017年4月1日 - 2017年9月30日				2016年4月1日 - 2016年9月30日				前年同期比 (%)
	ランクバリュー (億円)	順位	市場占有率	案件数	ランクバリュー (億円)	順位	市場占有率	案件数	
野村証券	40,555.7	1	43.4	55	18,681.6	9	18.9	55	117.1
ゴールドマン・サックス	30,732.5	2	32.9	16	39,053.1	3	39.6	16	-21.3
三菱UFJモルガン・スタンレー	29,778.9	3	31.9	22	31,887.4	7	32.3	22	-6.6
三井住友フィナンシャルグループ	9,202.7	4	9.8	100	15,121.4	10	15.3	100	-39.1
バンクオブアメリカ・メリルリンチ	8,249.7	5	8.8	10	-	8	20.0	10	-58.2
シティ	5,559.1	6	5.9	10	7,484.1	14	7.6	10	-25.7
JPモルガン	5,462.9	7	5.8	5	-	13	7.6	5	-27.3
みずほフィナンシャルグループ	5,271.7	8	5.6	82	51,838.6	1	52.5	82	-89.8
プライスコアターハブスカーパス	3,543.1	9	3.8	13	724.5	25	0.7	13	389.1
UBS	3,431.7	10	3.7	4	32,423.8	5*	32.8	4	-89.4
アドバイザー分計	68,277.1		73.0	474	90,627.1		91.8	539	-24.7
その他	25,234.6		27.0	1,113	8,104.9		8.2	1,073	211.4
市場合計	93,511.7		100.0	1,587	98,732.0		100.0	100	-5.3

国内市場(被買収側-日本国籍、買収側-日本国籍)公表案件

不動産案件除外  
ランクバリューベース

アドバイザー	2017年4月1日 - 2017年9月30日				2016年4月1日 - 2016年9月30日				前年同期比 (%)
	ランクバリュー (億円)	順位	市場占有率	案件数	ランクバリュー (億円)	順位	市場占有率	案件数	
野村証券	11,081.2	1	61.9	42	14,791.9	2	47.2	47	-25.1
三井住友フィナンシャルグループ	7,160.5	2	40.0	87	14,407.5	3	46.0	52	-50.3
みずほフィナンシャルグループ	3,641.1	3	20.3	71	9,630.1	5	30.7	85	-62.2
シティ	2,537.2	4	14.2	4	7,227.3	6	23.1	3	-64.9
クレディ・スイス	2,325.4	5	13.0	5	-	-	-	-	-
アーンスト・アンド・ヤング	2,308.7	6	12.9	7	-	54*	-	2	-
三菱UFJモルガン・スタンレー	2,063.4	7	11.5	12	14,869.2	1	47.5	13	-86.1
ゴールドマン・サックス	2,003.9	8	11.2	6	2,003.9	19	0.5	3	1,076
プライスコアターハブスカーパス	1,581.3	9	8.8	10	29.3	26	0.1	11	5,306
バンクオブアメリカ・メリルリンチ	1,339.2	10	7.5	4	6,463.2	7	20.6	1	-79.3
アドバイザー分計	14,411.4		80.5	330	28,399.8		90.7	352	-49.3
その他	3,492.8		19.5	734	2,926.2		9.3	730	19.4
市場合計	17,904.2		100.0	1,064	31,326.0		100.0	100	-42.8



# 日本 株式資本市場

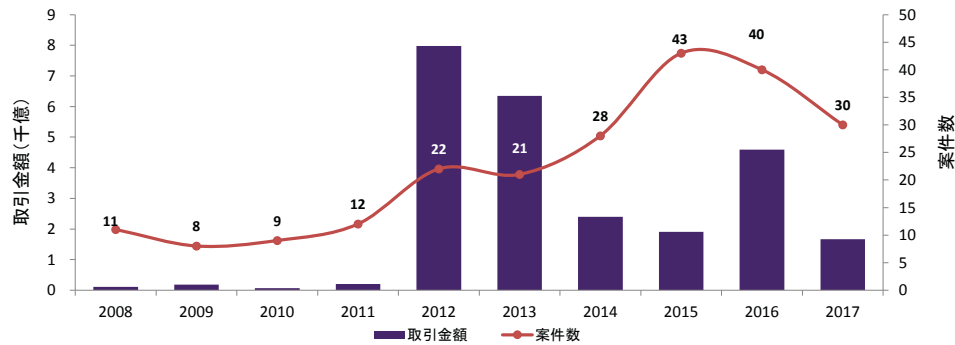
## 株式・株式関連 2.7兆円 | 既公開2.3兆円

### 日本案件情報

2017年度上半期の日本株式・株式関連市場における資金調達額は、既公開案件に大きく牽引され、前年同期比で113.9%増加となる2.7兆円であった。内訳別で見ると、日本郵政の1.3兆円の案件を筆頭に既公開取引金額は、昨年同期の6551.8億円から大きく飛躍し2.3兆円を記録し、市場全体の85%を占めた。既公開の同取引水準は、上半期ベースで過去最高水準を記録した2009年の2.6兆円に次ぐ水準となる。一方、新規公開取引金額は、前年同期比63.7%減少となる1666.1億円で2012年以降最低となった。案件数は、昨年同期より25%減少となる30件で2年連続減少した。

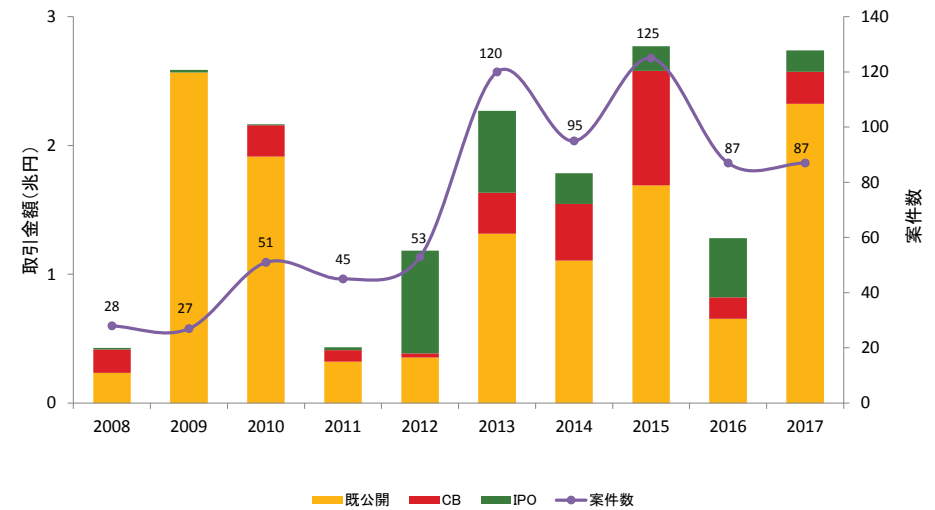
### 新規公開案件推移

(4-9月期)



### 株式・株式関連推移

(4-9月期)



### グローバル株式・株式関連(C1e) - 日本

ブックランナー	2017年4月1日 - 2017年9月30日				2016年4月1日 - 2016年9月30日				前年同期比 (%)
	取引金額 (百万円)	順位	市場占有率	案件数	取引金額 (百万円)	順位	市場占有率	案件数	
野村	673,715.1	1	24.6	32	326,591.3	1	25.5	31	106.3
大和証券グループ本社	574,867.0	2	21.0	20	117,943.4	5	9.2	20	387.4
三菱UFJモルガン・スタンレー	381,319.7	3	13.9	12	198,664.3	4	15.5	11	91.9
みずほフィナンシャルグループ	356,771.4	4	13.0	18	199,778.2	3	15.6	25	78.6
ゴールドマン・サックス	311,392.2	5	11.4	5	56,431.7	6	4.4	4	451.8
三井住友フィナンシャルグループ	170,126.0	6	6.2	20	246,232.7	2	19.2	26	-30.9
バンクオブアメリカ・メリルリンチ	147,742.6	7	5.4	4	53,058.8	7	4.1	2	178.5
JPモルガン	84,023.4	8	3.1	3	26,863.6	9	2.1	2	212.8
SBIホールディングス	12,810.0	9	0.5	5	2,915.5	11	0.2	5	339.4
UBS	11,769.8	10	0.4	2	9,421.9	10	0.7	2	24.9
市場合計	2,738,369.3		100.0	87	1,280,246.4		100.0	87	113.9

### グローバル新規公開(C7d) - 日本

ブックランナー	2017年4月1日 - 2017年9月30日				2016年4月1日 - 2016年9月30日				前年同期比 (%)
	取引金額 (百万円)	順位	市場占有率	案件数	取引金額 (百万円)	順位	市場占有率	案件数	
三井住友フィナンシャルグループ	63,895.2	1	38.4	5	82,287.3	3	17.9	10	-22.4
野村	48,389.4	2	29.0	8	124,966.3	1	27.2	11	-61.3
三菱UFJモルガン・スタンレー	31,625.4	3	19.0	3	82,910.9	2	18.1	3	-61.9
みずほフィナンシャルグループ	9,813.6	4	5.9	4	66,431.5	4	14.5	10	-85.2
大和証券グループ本社	6,217.0	5	3.7	5	54,387.1	5	11.9	9	-88.6
高誠証券	2,181.3	6	1.3	1	-	-	-	-	-
SBIホールディングス	2,005.1	7	1.2	3	1,916.5	8	0.4	4	4.6
いちよし証券	1,092.0	8	0.7	1	-	-	-	-	-
東海東京フィナンシャル・ホールディングス	883.2	9	0.5	1	-	-	-	-	-
岡三証券グループ	507.8	10	0.3	1	-	-	-	-	-
市場合計	166,610.1		100.0	30	458,889.6		100.0	40	-63.7



# 日本 シンジケートローン

## 日本市場 組成金額31%減少 | ユー・エス・ジェイ案件が首位

### 日本案件情報

2017年度上半期の日本シンジケートローン市場(ブックランナー付ベース)は、組成金額ベースで前年同期比30.8%の減少となる8.8兆円となり、2015年度以降上昇していた組成金額が低下した。案件数ベースにおいても前年同期比7.7%減少の798件となった。

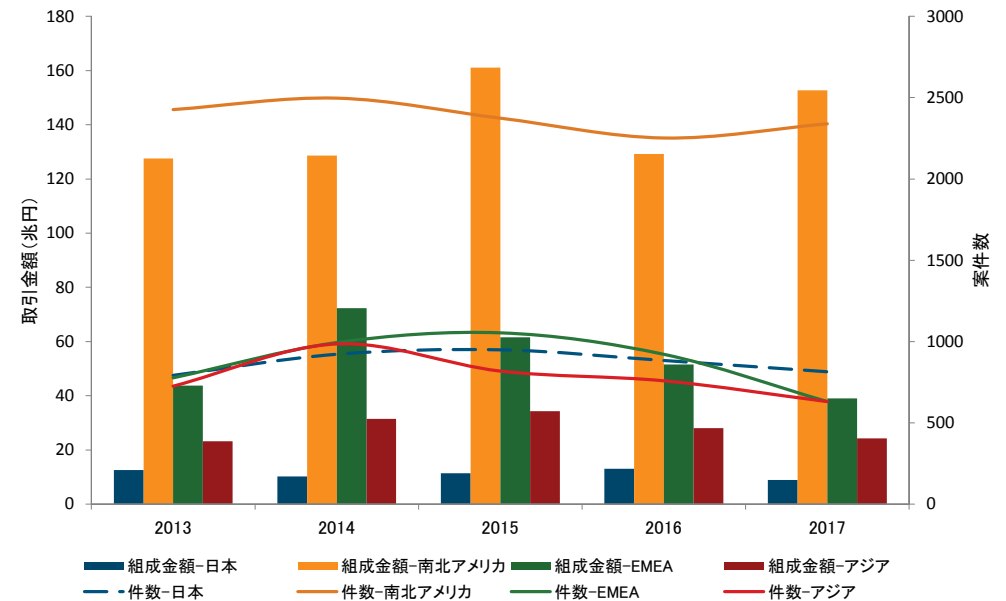
セクター別では工業が、市場占有率25%となる組成金額2.2兆円、案件数204件で日本市場を牽引している。どの業種においても減少がみられるものの、6位のメディア、エンターテインメントおよび13位の政府、政府系機関においては、それぞれ前年同期比160.1%および24.3%増加している。

### 2017年度 トップ案件

順位	ファイナンシャル クローズ日	借入人名	取引金額(億円)	ブックランナー
1	2017/5/1	ユー・エス・ジェイ	4,500.0	三菱東京UFJ銀行/みずほ銀行/三井住友銀行
2	2017/6/30	JXTGホールディングス	4,500.0	みずほ銀行
3	2017/4/3	東芝	2,800.0	みずほ銀行/三井住友銀行
4	2017/9/29	日産自動車	2,500.0	
5	2017/6/29	日本電気	2,300.0	三井住友銀行
6	2017/6/7	三菱重工業	2,100.0	
7	2017/6/23	伊藤忠商事	2,000.0	みずほ銀行
8	2017/8/1	ソフトバンクグループ	1,785.0	みずほ銀行
9	2017/8/31	東京国際空港ターミナル	1,461.8	みずほ銀行
10	2017/6/1	JXTGホールディングス	1,300.0	三井住友銀行

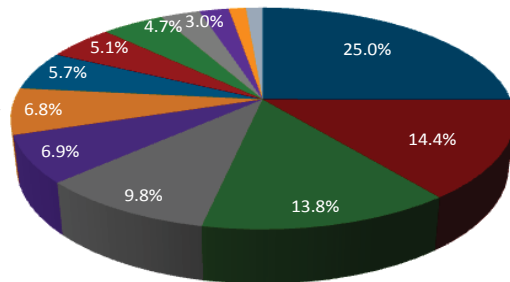
### 主要地域の市場動向

(4-9月期)



### 業種別 取引金額割合

- 工業
- エネルギー・電力
- ハイテクノロジー
- 原料、材料
- 金融
- メディア、エンターテインメント
- 不動産
- 卸売、サービス
- 小売
- 食品、生活雑貨
- 通信
- ヘルスケア
- 政府、政府系機関



### 日本 シンジケートローン-ブックランナー(S12b)

(ファイナンシャルクローズ日ベース)

ブックランナー	2017年4月1日 - 2017年9月30日				2016年4月1日 - 2016年9月30日				前年度比 (%)
	取引金額 (百万円)	順位	市場占有率	案件数	取引金額 (百万円)	順位	市場占有率	案件数	
みずほフィナンシャルグループ	3,706,725.7	1	42.3	185	6,142,452.1	1	48.4	209	-39.7
三井住友フィナンシャルグループ	2,328,073.6	2	26.5	247	3,030,833.9	2	23.9	247	-23.2
三菱UFJフィナンシャル・グループ	2,009,476.4	3	22.9	278	2,646,558.9	3	20.9	309	-24.1
三井住友トラスト・ホールディングス	127,036.7	4	1.5	18	164,467.0	4	1.3	25	-22.8
日本政策投資銀行	87,952.0	5	1.0	12	110,327.0	5	0.9	11	-20.3
シティ	75,529.7	6	0.9	2	97,471.2	7	0.8	3	-22.5
コンコルディア・フィナンシャルグループ	74,561.7	7	0.9	31	65,328.0	9	0.5	39	14.1
クレディ・アグリコル	67,006.5	8	0.8	6	64,485.5	10	0.5	5	3.9
あおぞら銀行	57,277.0	9	0.7	11	100,063.7	6	0.8	12	-42.8
BNPパリバ	44,485.2	10	0.5	3	24,726.0	13	0.2	4	79.9
市場合計	8,774,305.1		100	798	12,681,121.5		100	865	-30.8



# 日本 債券資本市場

## 円債総合12兆円 | 普通社債6兆円

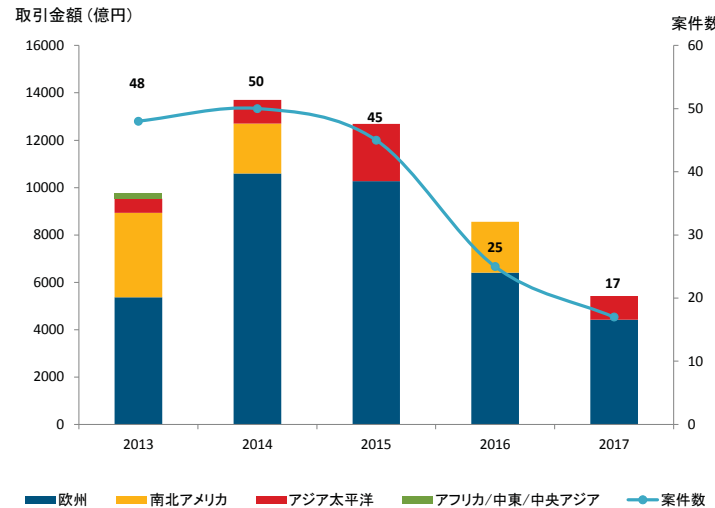
### 日本案件情報

2017年度上半期の円債総取引金額は11.9兆円で、好調であった昨年同期と比較し、5.6%の減少となったものの、2007年の13.7兆円、2016年の12.6兆円に次いで過去3番目に高い水準となった。案件数ベースでは、昨年同期より53件増加となる639件で、過去最高水準を記録した。

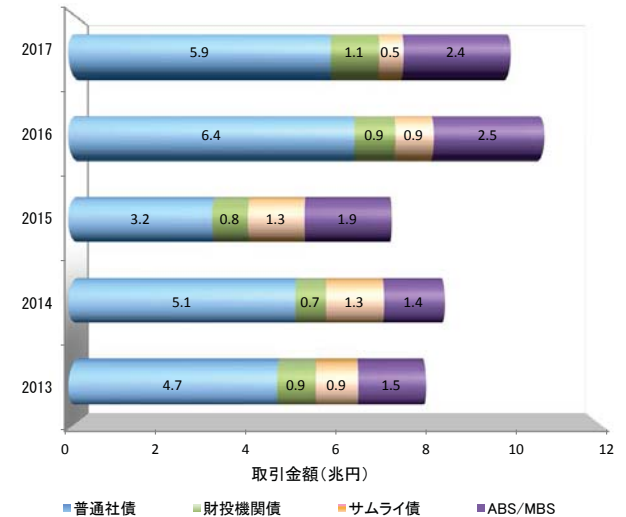
普通社債取引金額は、過去最高水準を記録した昨年同期の6.4兆円から8.3%減少し、5.9兆円となったものの、全体としてみると引き続き高水準で、2016年の6.4兆円、2009年の5.9兆円を僅かに下回る結果で、過去3番目の水準となった。案件数は306件で、昨年同期の274件を上回り上半期における最高件数を更新した。

サムライ債取引金額は、5420億円と前年同期の8555億円より36.65%減少し、3期連続で減少となった。同取引水準は、4~9月ベースで、2007年以降最低となる。案件数は、前年同期より8件減少となる17件で、案件数においても3期連続減少となった。

### サムライ債 発行体国籍地域分析 (4-9月期)



### 国内主要債券分類別 (4-9月期)



### 円債総合 (AP5)

主幹事	2017年4月1日 - 2017年9月30日				2016年4月1日 - 2016年9月30日				前年同期比 (%)
	取引金額 (百万円)	順位	市場占有率	案件数	取引金額 (百万円)	順位	市場占有率	案件数	
みずほフィナンシャルグループ	2,927,316.9	1	24.6	368	3,422,159.5	1	27.1	353	-14.5
三菱UFJモルガン・スタンレー	2,224,140.9	2	18.7	311	2,345,215.7	2	18.6	261	-5.2
三井住友フィナンシャルグループ	1,869,610.9	3	15.7	299	2,180,565.7	3	17.3	247	-14.3
野村	1,848,981.6	4	15.5	289	1,801,780.2	4	14.3	252	2.6
大和証券グループ本社	1,686,444.5	5	14.2	273	1,448,959.4	5	11.5	223	16.4
三井住友トラスト・ホールディングス	227,876.5	6	1.9	5	83,363.1	12	0.7	4	173.4
ゴールドマン・サックス	209,649.8	7	1.8	28	282,700.3	6	2.2	27	-25.8
バンクオブアメリカ・メリルリンチ	208,913.4	8	1.8	11	196,515.3	7	1.6	13	6.3
三菱UFJフィナンシャル・グループ	134,105.6	9	1.1	13	97,721.8	11	0.8	12	37.2
東海東京フィナンシャル・ホールディングス	120,538.7	10	1.0	34	125,427.9	8	1.0	32	-3.9
市場合計	11,906,495.1		100.0	639	12,609,056.6		100.0	586	-5.6

### サムライ債 (AP1)

主幹事	2017年4月1日 - 2017年9月30日				2016年4月1日 - 2016年9月30日				前年同期比 (%)
	取引金額 (百万円)	順位	市場占有率	案件数	取引金額 (百万円)	順位	市場占有率	案件数	
三井住友フィナンシャルグループ	149,936.7	1	27.7	17	195,170.0	1	22.8	16	-23.2
みずほフィナンシャルグループ	123,936.7	2	22.9	14	135,050.0	4	15.8	15	-8.2
野村	83,316.7	3	15.4	10	135,503.3	3	15.8	16	-38.5
三菱UFJモルガン・スタンレー	61,603.3	4*	11.4	11	171,720.0	2	20.1	20	-64.1
大和証券グループ本社	61,603.3	4*	11.4	11	108,803.3	5	12.7	17	-43.4
クレディ・アグリコル・CIB	33,983.3	6	6.3	5	21,683.3	8	2.5	5	56.7
ソシエテ・ジェネラル	16,000.0	7	3.0	2	30,000.0	7	3.5	5	-46.7
ナティクス	11,620.0	8	2.1	4	12,120.0	9	1.4	3	-4.1
市場合計	542,000.0		100.0	17	855,500.0		100.0	25	-36.65



# ランキング・クライテリア概要

プレスリリースに関するお問い合わせ先:

松島 由起子

電話: 03-6441-1617

[yukiko.matsushima@thomsonreuters.com](mailto:yukiko.matsushima@thomsonreuters.com)

クライテリアに関するご質問、また案件情報のご登録に関するお問い合わせ先:

<M&A>

本橋 馨

電話: 03-6441-1338

[kaori.motohashi@thomsonreuters.com](mailto:kaori.motohashi@thomsonreuters.com)

<株式・債券>

佐藤 亜紀

電話: 03-6441-1120

[aki.sato@thomsonreuters.com](mailto:aki.sato@thomsonreuters.com)

<シンジケートローン>

橋本 藍

電話: 03-6441-1155

[ai.hashimoto@thomsonreuters.com](mailto:ai.hashimoto@thomsonreuters.com)

注意: M&A、株式及び債券データは2017年10月3日、シンジケートローンデータは2017年10月6日時点のものである。また、案件提出には締め切りが適用される。

## <M&A>

対象期間中に公表された案件を対象とする。合併、買収、市場を介さない自己株式取得、スピン・オフ、公開買付による自社株買い、少数株主持ち分(50%以下)の株式取得、及びデット・リストラクチャリング案件を含むが、エクイティ・カーブアウト及び市場での自社株買い案件は対象外となる。リーグテーブルの金額は全て日本円で表示される。取引金額のついていない場合も対象となり、その場合取引金額は表示されない。また、取引金額は対象企業に提示された条件に基づき算定される。日本のプレスリリースにおける全データ及びリーグテーブルは、不動産案件を除外したランキングとなっている。

## <株式・株式関連>

対象期間中にプライシングされた日本国籍企業による株式案件の国内および海外発行分に加え、国内・海外株式関連案件を対象とする。IPO(新規公開)、既公開、アクセラレイテッド・ブックビルディング及びブロック・トレード(但し一定の制限に基づく)、CBを含む。償還日もしくはコール/プットの権利行使開始日が受渡日より360日以内に設定されているCBはリーグテーブル対象外となる。リーグテーブルの金額は、発行額(合計発行額又は株数 × 発行価格)を集計する。ブックランナーにフルクレジットが付与され、ジョイントブックの場合、各ブックランナーに均等にクレジット配分される。

## <債券>

対象期間中に発行された日本国籍企業の国内及び海外発行分に加え、海外国籍の円建て債券を対象とする。また、証券化案件は裏付け資産の所在地が日本のものを対象とする。償還日もしくはコール/プットの権利行使開始日が、受渡日より360日以内に設定されている案件はリーグテーブル対象外となる。リーグテーブルの金額は、発行額(合計発行額 × 発行価格)を集計する。日本APシリーズ(除くAP1)リーグテーブルは按分でクレジット配分される。AP1(サムライ債)リーグテーブルは均等でクレジット配分される。

## <シンジケートローン>

対象期間中にファイナンスルクローズを迎えたシンジケートローン案件を対象とする。相対ローン、セルフ・アレンジローン、関連会社間の案件、不明案件、および期日がファイナンスルクローズ日より90日未満の案件は対象外となる。リーグテーブルの金額は取引金額ベース、また対象市場ベースである。ブックランナーリーグテーブルではブックランナーに全クレジットが付与され、ジョイントブックランナーの場合、各ブックランナーに均等にクレジット配分される。

ここに掲載の三菱UFJフィナンシャル・グループおよびモルガン・スタンレーのリーグテーブル・クレジットは、日本における合弁会社(三菱UFJモルガン・スタンレー証券及びモルガン・スタンレーMUFJ証券)の設立後の状況を反映している。新設合弁会社のクレジットはモルガン・スタンレーへ集計されている。日本企業関連のリーグテーブル上では、モルガン・スタンレーは「三菱UFJモルガン・スタンレー」として表示されている。

本書に表示される如何なるグラフ又は図の複製を希望される場合、松島 由起子(まつしま ゆきこ) ([yukiko.matsushima@thomsonreuters.com](mailto:yukiko.matsushima@thomsonreuters.com)) 又は [media.support@thomsonreuters.com](mailto:media.support@thomsonreuters.com) までお問い合わせ下さい。

トムソン・ロイターは本書で提供される情報が、発行時点において正確であり、最新のものであることを確保するよう合理的な努力をしていますが、トムソン・ロイター又はトムソン・ロイターの第三者コンテンツ・プロバイダーも、本書に含まれる情報の誤謬、不正確又は遅延、或いはそれらに依拠してなされた行為についても、何らの責任も負うものではなく、また、第三者コンテンツ・プロバイダーの如何なる見解又は意見を是認するものではありません。法律により認められる限度において、トムソン・ロイターは明示又は黙示を問わず、提供されたコンテンツの正確性又は完全性、或いは如何なる目的における目的適合性に関する保証をすべて明示的に排除します。本コンテンツを取引又は売買を行う際の意思決定の目的で使用することは適切ではありません。本コンテンツは投資助言となる投資、税金、法律等のいかなる助言も提供しません。また、証券の売り買い等を含む、特定の金融の個別銘柄、金融投資あるいは金融商品に関するいかなる勧告もありません。トムソン・ロイターは、本書に関連した、如何なる者による又は如何なる者に対する証券の売り買いに関し、責任・義務を負いません。

© 2017 Thomson Reuters. All rights reserved.

Thomson Reuters及びThomson Reutersロゴは、Thomson Reutersの商標であり、登録商標となっています。本書に言及される如何なる第三者の名称又はマークは、当該第三者に帰属します。

# Thomson Reuters Solutions for the Deal Making Community

## トムソン・ロイターの案件コミュニティ向けソリューション提供



### FOR INVESTMENT BANKERS

#### 投資銀行向け

Thomson Reuters Eikon は、情報の最先端に行く、最も直観的で包括的なツールです。ナチュラル・ランゲージによる検索により、グローバルな情報、ニュース、チャートや分析などが迅速に入手できます。企業や業種の状況一覧ではトップレベルの概要を提供し、詳細情報はクリックするだけで入手可能です。また、新しい機会を見出したり、市場、業種、企業や事象について深い理解を得ることができます。

Thomson Reuters Eikon には、Microsoft® Office 用のアドインも含まれており、スクリーニングからターゲット指定、比較分析、リーグテーブルの作成、企業の価値査定、クライアント・ピッチ・ブックの開発まで、すべて Microsoft Office で効率的に行えます。Excel の検索と自動提案機能を駆使し、モデル構築も容易になっています。

#### 提供ソリューション：

- クライアント・リレーションシップの管理
- 案件組成
- New Issues のプレマーケティング / ロードショー
- ファイナンシャル・モデリング
- リークテーブルのカスタマイズ
- 簡単な案件情報のスクリーニング
- バリュエーション分析及び比較案件のスクリーニング
- オンブランドピッチブックの作成

### FOR INFORMATION PROFESSIONALS

#### 情報専門家向け

SDC Platinum は、New Issues (株式 / 債券) M&A、シジケート・ローン、プライベート・エクイティ、プロジェクト・ファイナンス、ポイズン・ピル等を含む世界最大の金融案件データベースです。

#### 提供ソリューション：

- マーケット分析&傾向 (地域、セクター、資産クラス、取引タイプ、取引規模など)
- 案件組成 (負債満期分析、プライベート・エクイティを含む企業のライフサイクル)
- ピッチング (企業実績、代表的な買収側)
- M&A ターゲット (アクティブな戦略 / スポンサー買収側、ターゲット情報スクリーナー)
- 交渉 (T&C ベンチマーキング)

### FOR STRATEGY AND PLANNING TEAMS

#### 戦略および企画チーム向け

Thomson Reuters Deals Business Intelligence では、Deals 及び手数料データを加工することにより、アドホック・レポート作成や市場傾向の分析、貴社の業績評価などを行うことが可能です。すべての作業を Excel® 上で行えることで、時間の短縮や競争力強化に繋がります。

#### 提供ソリューション：

- 市場分析や、傾向の特定
- 業績のベンチマーキング、競合他社のモニタリング
- ウォレットサイズや銀行取引関係に基づく顧客ターゲット
- ロスト案件の評価・分析をすることによる効率的なリソースの配分

セールスに関するご質問：[financial.thomsonreuters.com/sales](http://financial.thomsonreuters.com/sales)

商品の詳細：[financial.thomsonreuters.com/products](http://financial.thomsonreuters.com/products)

トムソン・ロイター Deals またはリーグテーブルレポートのご購入は、弊社 オンデマンド・グループまでご連絡ください：

Web：<http://financial.thomsonreuters.com/ondemand>

メール：[trondemand@thomsonreuters.com](mailto:trondemand@thomsonreuters.com)

無料の分析結果や最新情報の入手は Thomson Reuters Deals Intelligence ウェブサイトにアクセスして下さい。：

[dmi.thomsonreuters.com/dealsintelligence](http://dmi.thomsonreuters.com/dealsintelligence)

